

基本構想
(目指すべき将来像)

さらなるごみの減量・リサイクルによる
「資源循環型社会の構築」

基本方針

(市の現状・課題を背景に設定)

【課題1】

【課題2】

【課題3,4,6,7】

基本方針 1 「減らす」

ごみの発生抑制と再使用
(2R) を優先的に進めます

資源やエネルギーを必要とする
「リサイクル」よりも優先すべき
対策であるごみの発生抑制と再使
用の取組を進めます。

基本方針 2 「分ける」

ごみの分別と
資源化を徹底します

ごみの発生抑制と再使用の取組を
進めてもなお発生するごみを適正
に分別するために、市民に分かり
やすい区分によって適正に分別
し、可能な限り資源化することを
徹底します。

基本方針 3 「安心できる」

環境負荷の低減に努め
効率的かつ経済的な
ごみ処理を目指します

収集から最終処分までの各過程
において、温室効果ガス排出量
の削減や環境汚染物質の発生抑
制などの環境負荷の低減に努
め、効率的かつ経済的な事業運
営を目指します。

ごみ量の将来推計

数値目標

目標
R14
年度

① 家庭系ごみの減量目標

R1比で●●●トン以上減量
(市民1人1日当たり
●●●g以上減量)

② 事業系ごみの減量目標

R1比で●●●トン以上減量
(市民1人1日当たり
●●●g以上減量)

③ ごみの埋立処分量の減量目標

R1比で●●●トン以上減量

上記目標の達成に向けた課題の把握、施策の改善や見直しの際に参考として把握する指標 (≒市民等の行動目標)

① 家庭・事業所から出る
食品ロス量

② リサイクル率

③ 容器包装プラスチック類・古紙類
の収集・資源化量

基本施策

(目標達成に向けた取組)

基本施策 1

基本施策 2

重点施策

主な一般施策

市民・事業者・行政の協働

【課題5】

推進方策